

北海道

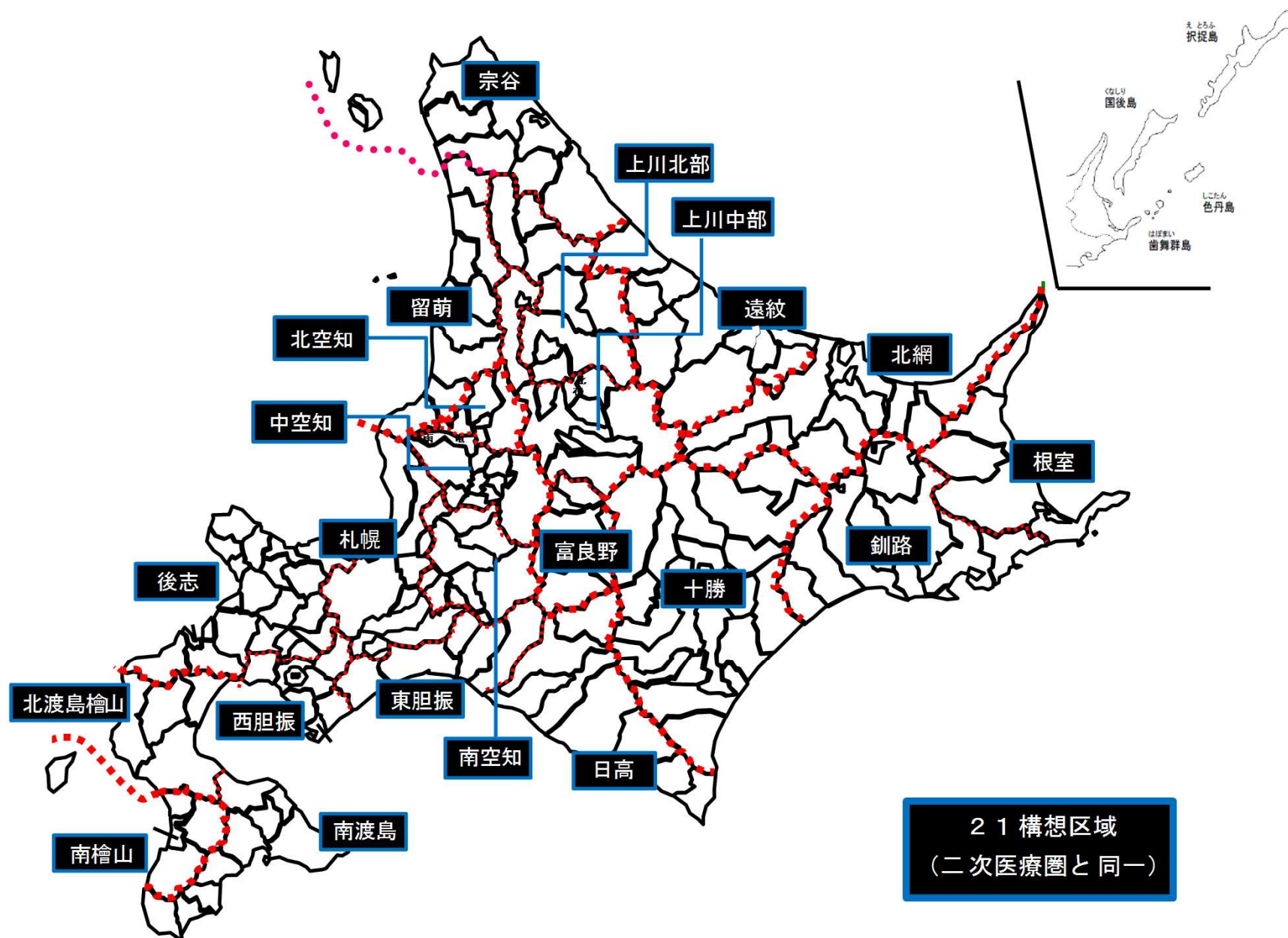
「地域医療構想推進シート」 による構想の進行管理

資料概要： 本道では、平成28年12月に策定した「北海道地域医療構想」に基づき、本年度中を目途に、21構想区域ごとに「地域医療構想推進シート」を作成し、PDCAによる構想の実現に向けた取組を加速化させる考え。

（ 地域医療構想は、2025年に向けた中長期的な枠組みであるが、一方で「骨太方針2017」においては2年間程度で集中的な協議を行うこととされている。
地域の実情を踏まえつつ、スピード感を持って取組を進めることが必要。 ）

1-①

都道府県及び構想区域の基礎情報【構想区域】



1-②

都道府県及び構想区域の基礎情報【医療機関数、医師数等】

構 想 区 域	人口 (H27.10.1)	面積	市町村数	報告対象 病院数 (H28.7.1)				報告対象 有床診療所 (H28.7.1)	医療施設 従事医師数 (H28)	人口10万対
				公立病院	公的医療 機関等	その他				
南 渡 島	381,620 人	2,670 km ²	9	34	6	4	24	34	872 人	232.0 人
南 檜 山	23,769 人	1,423 km ²	5	5	4	0	1	3	28 人	120.5 人
北 渡 島 檜 山	37,279 人	2,473 km ²	4	7	5	1	1	1	48 人	132.2 人
札 幌	2,375,449 人	3,540 km ²	8	205	4	10	191	177	6,853 人	289.5 人
後 志	215,522 人	4,305 km ²	20	16	1	6	9	31	432 人	204.7 人
南 空 知	166,691 人	2,562 km ²	9	16	8	3	5	17	273 人	166.9 人
中 空 知	108,970 人	2,162 km ²	10	14	6	0	8	9	251 人	234.6 人
北 空 知	32,675 人	1,067 km ²	5	3	1	0	2	0	56 人	174.9 人
西 胆 振	189,696 人	1,356 km ²	6	18	2	3	13	7	416 人	222.8 人
東 胆 振	212,059 人	2,340 km ²	5	14	3	0	11	16	342 人	161.8 人
日 高	69,015 人	4,811 km ²	7	6	4	1	1	3	67 人	99.3 人
上 川 中 部	394,270 人	4,238 km ²	10	37	2	4	31	38	1,316 人	339.2 人
上 川 北 部	66,591 人	4,197 km ²	8	8	5	1	2	2	119 人	182.5 人
富 良 野	42,597 人	2,183 km ²	5	4	2	1	1	1	51 人	122.0 人
留 萌	47,912 人	3,445 km ²	8	6	4	0	2	3	66 人	140.8 人
宗 谷	67,503 人	4,626 km ²	10	9	8	0	1	3	57 人	86.7 人
北 網	222,696 人	5,542 km ²	10	23	3	5	15	18	327 人	148.9 人
遠 紋	70,846 人	5,148 km ²	8	12	4	2	6	3	100 人	145.6 人
十 勝	343,436 人	10,831 km ²	19	30	8	5	17	23	616 人	180.6 人
釧 路	236,516 人	5,997 km ²	8	20	3	3	14	11	388 人	166.4 人
根 室	76,621 人	8,500 km ²	5	5	4	0	1	2	77 人	102.7 人
全 道	5,381,733 人	83,424 km ²	179	492	87	49	356	402	12,755 人	238.3 人
全 国	127,094,745 人	377,972 km ²	1,718						304,759 人	240.1 人

1-③

都道府県及び構想区域の基礎情報【病床数】

(単位: 床)

構 想 区 域	平成28年度 病床機能報告における病床数							2025年の必要病床数(推計値)				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (未報告含む)	非稼働 病棟	合 計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合 計
南 渡 島	244	3,452	609	1,435	249	165	5,989	585	1,759	1,618	895	4,857
南 檜 山	0	198	0	187	48	91	433	0	56	119	70	245
北 渡 島 檜 山	0	383	59	536	0	19	978	18	103	196	228	545
札 幌	3,126	16,619	2,661	12,137	1,256	735	35,799	3,913	10,951	8,923	11,999	35,786
後 志	102	1,484	281	1,299	206	162	3,372	164	638	856	1,264	2,922
南 空 知	0	1,272	141	918	19	39	2,350	98	474	708	645	1,925
中 空 知	26	831	168	924	68	38	2,017	124	424	435	626	1,609
北 空 知	0	191	0	407	8	8	606	17	100	153	252	522
西 胆 振	60	1,408	579	1,530	250	380	3,827	279	800	620	1,127	2,826
東 胆 振	33	1,413	183	611	86	11	2,326	233	752	800	677	2,462
日 高	0	307	0	260	62	43	629	20	103	259	255	637
上 川 中 部	1,256	2,726	545	2,048	262	198	6,837	689	1,795	1,613	1,528	5,625
上 川 北 部	11	482	76	403	10	0	982	63	229	251	249	792
富 良 野	0	335	0	175	0	0	510	25	120	177	165	487
留 萌	0	346	80	225	112	112	763	35	142	191	195	563
宗 谷	0	466	101	165	43	28	775	28	127	271	156	582
北 網	270	1,669	103	833	155	97	3,030	275	790	744	641	2,450
遠 紋	92	496	50	404	102	102	1,144	46	186	285	261	778
十 勝	414	1,889	531	1,370	356	208	4,560	363	1,141	1,207	1,356	4,067
釧 路	569	1,628	253	1,031	163	173	3,644	355	1,139	769	750	3,013
根 室	0	341	0	170	83	72	594	20	97	236	144	497
全 道	6,203	37,936	6,420	27,068	3,538	2,681	81,165	7,350	21,926	20,431	23,483	73,190

2 北海道の特徴

【地域特性（広域分散型・積雪寒冷）】

全国の総面積の約22%を占め、第三次医療圏を6圏域、第二次医療圏を21圏域設定。また、冬期間の多雪地域では最大積雪深が3mを超え、内陸部の気温はマイナス30℃以下にもなる。

【人口推計】（H25.3月 社人研推計）

2015年 総人口 536万人（75歳以上 14.6%）
2025年 総人口 496万人（75歳以上 20.6%）

【医療施設等の状況】（全道／全国）

病床数〔人口1,000人対〕（H27）

- ・一般病床 10.9床／7.8床
- ・療養病床 4.3床／2.7床

1日平均在院患者数〔人口10万対〕（H28）

- ・一般病床 725.7人／528.2人
- ・療養病床 359.4人／228.3人

病床利用率（H28）

- ・一般病床 73.7%／75.2%
- ・療養病床 86.1%／88.2%

平均在院日数（H28）

- ・一般病床 17.5日／16.2日
- ・療養病床 215.6日／152.2日

市町村立病院数（H27）

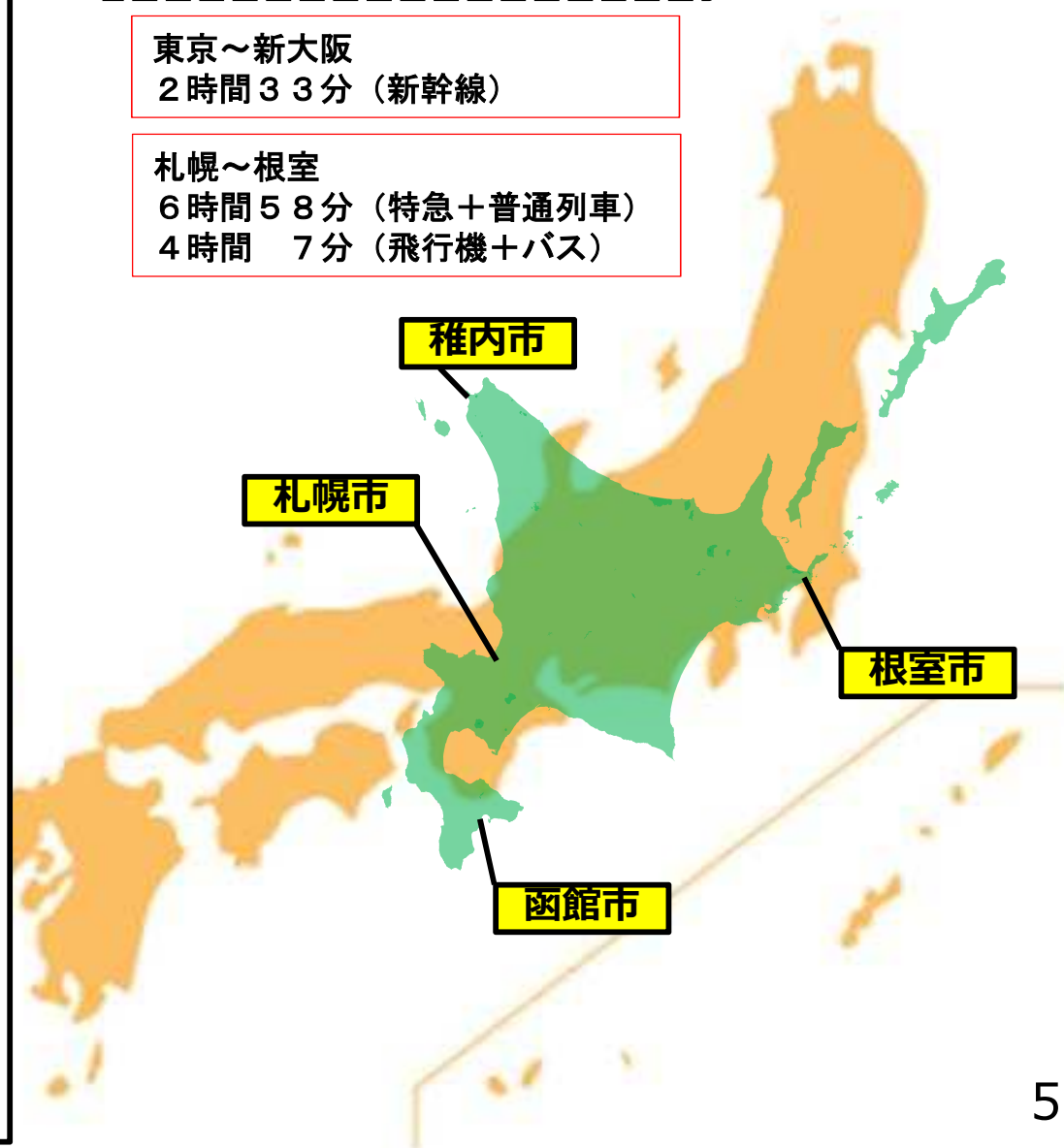
- ・15.0%（85施設）／7.7%（649施設）

⇒100床未満 65.9%（56施設）／34.8%（226施設）

札幌市と根室市の距離は
東京・大阪間に相当

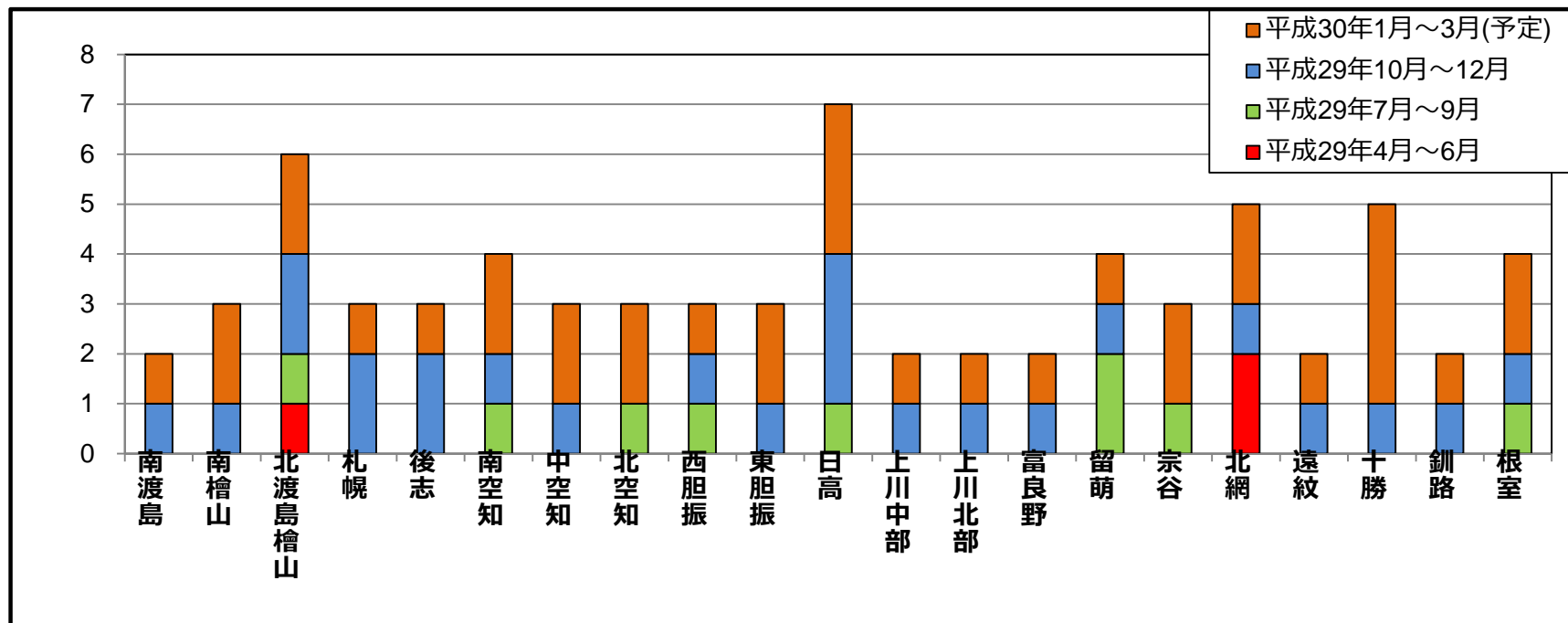
東京～新大阪
2時間33分（新幹線）

札幌～根室
6時間58分（特急＋普通列車）
4時間 7分（飛行機＋バス）



3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）



■ 意見交換会等の取組例

【都市部における対応】

- 札幌区域については、保健所エリアごと（札幌市、道立江別、道立千歳）にそれぞれ部会等を設置して意見交換等を進める。
- 札幌市においては、全医療機関（382施設）が調整会議等に参画することは現実的に難しいため、当面は市内医療機関を対象とした説明会を定期的に開催するなど、情報共有等を図る。

【部会等の設置】

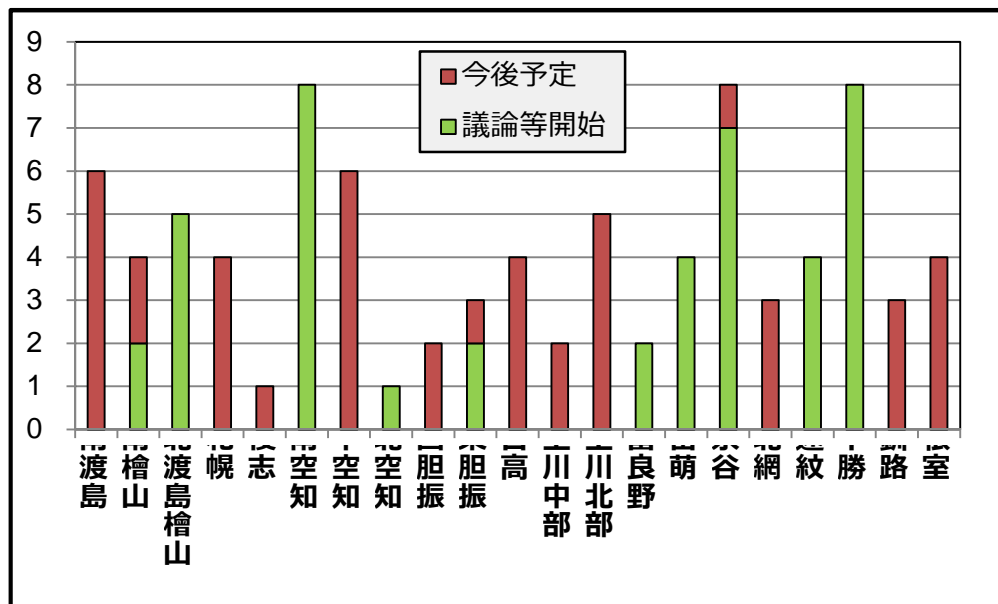
- 21区域中、17区域で部会等を設置済み。
（各区域の状況に応じて、「医療機能ごと」、「医療・介護の分野ごと」の部会等を設置し、個別具体の意見交換等を実施）

【独自の取組（調査）】

- 4機能ごとの5疾病分類別の入院患者数とその割合
- 病床機能報告の結果に関して、病床単位での数値を把握

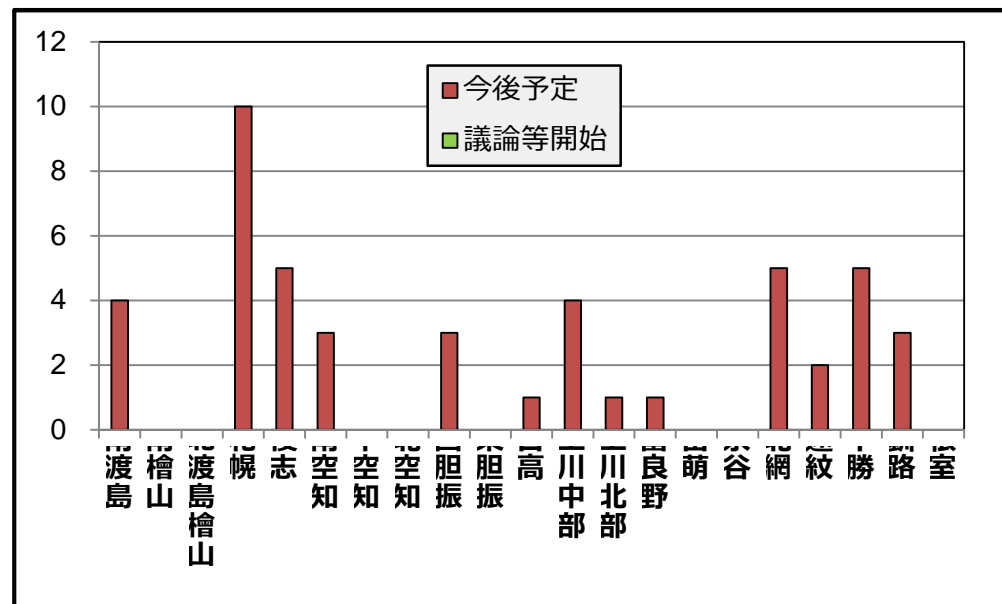
4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

■ 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論等を開始した病院数／策定対象病院数



85／87病院が策定（H29.12月末時点）

■ 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論等を開始した病院数／策定対象病院数



46／47病院が策定（H29.12月末時点）

【プランの活用】

- 「地域医療構想推進シート」（21区域）の作成に当たっての基礎資料として活用
- 地域医療構想の実現に向けた取組を進める上での資料として活用

【スケジュール】

- 年度内開催の調整会議等において、各プランの共有（説明）を行う。

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

構想の推進管理（北海道地域医療構想の記載内容）

新公立病院改革プランを踏まえつつ、次期医療計画策定時を一つの目途として、工程表あるいは具体的な役割分担に関する方向性について地域で合意することを目指します。



「地域医療構想推進シート」の作成

平成29年度中を目途に21構想区域ごとに作成し、毎年定期的に行う調整会議における意見交換等の結果を踏まえ、更新（追加、修正）していく。

作成の手順

①新公立病院改革プラン【87病院】

②公的医療機関等2025プラン【46病院】

③全医療機関（病院・有床診）【928施設】
市町村へのアンケート調査

事務局案の作成（保健所）

調整会議で合意
(H30.3月目途)

「構想推進シート」の概要

- 構想の実現に向けた取組の方向性
- 圏域の医療機能や他圏域との連携等の必要性
- 不足することが見込まれる医療機能の確保等
- 医療機関の再編・ネットワーク化
- ICTを活用した地域医療ネットワークの整備
- 非稼働病床への対応（病床単位）
- 在宅医療等の確保対策
- 地域（市町村）における取組
- 「2つのプラン」の進捗状況
- 二次医療圏を越えた広域的な意見交換等
- 全医療機関の参画等に係る取組
- 病床機能報告制度に係る取組(未報告解消等)
- 当該年度の取組等の評価、今後の方向性等

6 医療機関の再編・統合の参考事例

現在検討中

【趣旨等】

室蘭市が事務局となり、「地域医療のあり方検討会」を設置し、人口減少等を踏まえ、市内の3総合病院をはじめとした将来的な医療提供体制について検討。

【室蘭市の人口推計（H25.3月 社人研推計）】

（単位：人）

年 度	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0～14歳	10,484	9,508	8,332	7,345	6,539	5,998	5,606
15～64歳	56,335	50,395	46,516	44,317	42,054	39,301	35,490
65～74歳	14,629	15,201	13,952	10,444	8,510	8,490	9,393
75歳以上	13,087	14,723	16,247	17,713	17,349	15,379	13,632
合 計	94,535	89,827	85,047	79,819	74,452	69,168	64,121

【市内3総合病院の比較】

病院名	設置者	病床数	医師数
市立室蘭総合病院	室蘭市	549床	52人
日鋼記念病院	社会医療法人	479床	50人
製鉄記念室蘭病院	社会医療法人	347床	80人

【地域医療のあり方検討会のメンバー】

室蘭市、市内3総合病院、地区医師会、医育大学、町内会連合会、道立保健所

【当面のスケジュール】

- H29.11.11 第1回「地域医療のあり方検討会」の開催
 （H29年度中に検討会を計4回開催（予定）し、方向性を整理）
 H30年度～ 具体的な作業に着手

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 「地域医療構想推進シート」及び「医療機関アンケート調査結果」等に基づき、より具体的な意見交換等を進める。
 - ・ 不足することが見込まれる医療機能の確保（「回復期」の実患者数の把握等）
 - ・ 医療機関の再編／ネットワーク化の促進（アンケート調査の結果に基づく取組）など

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 老朽改築等に合わせた病床転換などの積極的な働きかけ。
- 病床機能分化・連携促進基盤整備事業の拡充を検討するとともに、本道の地域特性を踏まえたICTを活用した患者情報共有ネットワークや遠隔医療の導入を促進。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 次期医療計画及び介護保険事業（支援）計画に基づき、基金等を活用し、新たなサービス必要量に対応した施設整備等を進める。
- 在宅医療については、基金（医療分）を活用した、「在宅医療支援グループの運営」「訪問診療用ポータブル機器整備」「訪問看護ステーションの不足地域におけるステーションの設置支援」など、受け皿の確保に努める。

